

平成26年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立河辺小学校

教育目標(めざす児童生徒像)	今年度の指導の重点
<b>学校教育目標</b> 自ら学び、生き生きと表現する 心豊かな子どもを育てる <b>めざす子ども像</b> 思いやりのある子 進んで学び合う子 思いを伝え合う子	人と人とのつながりを育てながら ・学力の充実...基礎基本、聞く・考える・伝え合う 学習規律 ・生活の充実...あいさつ・まきり・そうじ 生活規律 ・人権教育の充実...一人ひとりが大切にされる仲間づくり ・特別支援教育の充実...個のニーズに応じた支援 ・家庭・地域との連携の充実

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
<b>【学力状況調査の結果】</b> 全国 国語Aについては、県平均を下回っている。故事成語の問題は、県平均よりかなり高い。本校57%(県46%) 算数Aについては、県平均と同程度である。「図形」「数量関係」で県平均を上回っている。割合の問題の正答率が低い。本校52%(県60%) 国語Bについては、無解答率が県平均より高い数値になっているが、書く能力は県平均と同程度である。 算数Bについては、記述式の問題については正答率が下がり、無解答率が上がっている。 県 国語:漢字の書きの正答率はやや低いが、漢字の読みの正答率は高い。 国語:活用問題の正答率が低い。「書く能力」に課題が見られる。 社会:「地形図の見方」「くらしを支える水」、「歴史」、「日本国憲法」の問題の正答率が低い。 数学:「数量や図形についての知識」は県平均を上回っている。図形領域は過去4年間もよく、学習したことの定着が見られる。 数学:活用問題、数学的な考え方に課題が見られるが、基礎基本の定着は見られる。 理科:全体的に県平均を下回っているが、活用は同程度である。	<b>【学習状況調査結果】</b> 学校の宿題をしている割合が県平均より高い。 家で、学校の授業の予習・復習をしている児童の割合が県平均に比べ低い。 算数の授業の内容がよく分かったと回答した児童の割合が県平均より高い。 図書館を利用する児童の割合が県平均よりかなり高い。 平日にテレビを1時間以上見る児童の割合は県平均と同程度だが、平日2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たゲームをしたりする児童の割合は県平均よりかなり低い。 「近所の人に会ったときは、あいさつをしている。」という質問に「あてはまる」と回答した生徒の割合は、県平均を上回っている。 毎日、同じくりに寝て、同じくりに起きる児童の割合が県平均より高い。 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」「自分にはよいところがある」などの質問に否定的な回答をしている児童の割合が高く、自己肯定感が低い児童が多い。 学校のまきりを守らない、友だちへの理解や思いやりに欠ける児童の割合が県平均に比べ高い。

成果と課題	課題に対応した改善方法
家庭学習の習慣が定着しつつある。年度当初に家庭学習の手引きを発行したり、毎月1回1週間家庭学習をチェックする「うさかめカード」を実施したりしている成果と考えられる。 基本的な四則計算については、県平均同程度かそれ以上である。朝学習算数すいすいタイムの時間を使い系統的に学年を越えた既習事項の繰り返しプリントを実施している成果と考える。今後も継続的に実施する。 場面や相手に応じた言葉遣いで話すことができにくい児童の割合が多い。言葉遣いやあいさつについては、今後も引き続き指導していく必要がある。 「自分にはよいところがあります」と回答する児童生徒が少ない。 自分の考えを書いて表現することを苦手と感じる児童が多い。	今年度も、うさかめカードの提出率100%をめざし、保護者への呼びかけを積極的に行い、家庭学習の習慣の定着を図る。小中連携で取り組んでいるノーマディアデーを「うさかめカード」の中で取り入れ、テレビ・DVD等の視聴時間やゲーム等の時間が減少するようにする。 毎日の授業の中で、自分の考えを図や文章で書く活動を取り入れ、授業改善に取り組む。 グループやペア学習を取り入れた学び合いを大切に授業に取り組む。 基礎・基本の定着を図るため、算数すいすいタイム・国語わくわくタイム・漢字タイムを継続する。 低・中学年での親子読書、読書ボランティアによる読み聞かせ、図書館教育の充実により、本好きな子を増やし、読書量が増えるようにする。 自分からあいさつをする、名前を呼ばれたら返事をする、言葉遣いに気を付ける等、場面や相手に応じた話し方ができるように指導していく。

取組の検証方法及び検証時期	達成目標(数値目標)
朝学習;算数すいすいタイムと国語わくわくタイムの継続的実施。 岡山県学習到達度確認テストの実施(すいすいタイムやわくわくタイムの問題に組み込む)。 うさかめカードの実施(年1回)。 6年生においては県学テ、5年生においては全国学テの過去問題や同一問題・類似問題に取り組む(3学期)。 既習漢字が定着するように、金曜日に家庭学習用プリントを配布し、月曜日・水曜日の朝学習でミニテストを行う。(月1回)	3学期に行う算数すいすいタイム・国語わくわくタイムで、平均点が80点以上になるようにする。 漢字ミニテストで90点以上、学期末の漢字50問テストで平均点が80点以上になるようにする。 うさかめカードの提出率が100%になるようにする。 自己肯定感を高める。(自分のいいところを5つ以上言えるようにする。)